

年4回(4月、7月、10月、1月の各10日)発行

ひゅーまんねつとわーく



2011年1月発行 / 第44号

社会福祉法人北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-6 奥野ビル402 TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



ふれいすBe レクリエーション 『平安女学院大学へ行こう!』の様子

上右から1番目写真:岡田一さん 上右から2番目写真 左より:柳澤和弥さん、中原強さん
下右から1番目写真 左より:岡田一さん、辻有希子さん、森本眞生さん 下左から1番目写真:辻有希子さん



新年のご挨拶

社会福祉法人北摂杉の子会

理事長 ^{なか} ^{むら} ^{せつ} 中 村 節 史

2011年【辛抱と明日への地道な布石の年】の幕開けとなりました。

昨年の新年のご挨拶のなかで、「2010年は世界的にも、日本においても①新しい価値観（多様性の尊重、構造の改革などの）の顕在化②一方で古い価値観を守ろうとする動き（価値観の違うものの排除）③経済の緩やかな回復④雇用は少し遅れるが回復の方向⑤しかし社会全体とすれば生みの苦しみを味わう一年となり、それはその後も続くことになるだろう」と述べさせていただきました。マクロの流れとしては概ねその方向でありましたが、実際の2010年は私の想像以上に生みの苦しみを味わった一年で、大きな課題は殆ど2011年以降に持ち越されることになりました。特に雇用の回復については、今までの景気の回復のパターンからはズレが生じております。これは新資本主義（マネー資本主義）の影響による企業行動の変化が大きな要因となっておりますが、そのために景気回復への苛立ちが強まっていることは事実です。加えて政治世界での不毛な行動と社会・経済評論家とマスメディアの悲観論が必要以上に社会全体を暗くしていることは否めません。

しかし、2010年から2011年にかけての社会・経済の動向を冷静に見てみますと、世界的にも日本においても、景気の回復は緩やかですが、7合目ぐらいにさしかかっており実態経済の回復が進むにつれ雇用の回復も今年は目に見える形になっていくと思います。新しい価値観への動きも一歩前進、二歩後退の感はある

ものの地殻変動は確実に起きつつあります。政府が無策なのは今に始まったことではありませんし、学者・評論家やマスコミが悲観論を唱えるのはいつものことで日本のお家芸の一つです。

そういう意味では、2011年は明るくもありませんが、暗くもない普通の年であり、言い方を変えれば【辛抱、辛抱の一年】と言ってもよいと思います。

こういう時代における我々【障害福祉に携わる者の心構え】としては、活動の原点に戻って「他者に頼るのではなく自分でできるだけ頑張ること、社会の変化に柔軟に対応する姿勢を強く持つこと」「足元の懸案事項に地道に取り組むこと」「志を同じくし、常に事態の改善に取り組もうとしている地域の仲間たちとの連携を深めることにより地域における利用者サービスの総合力を上げる努力をすること」等だと考えております。

北摂杉の子会の2010年の活動を振り返ってみますと、前年のふれいすBe開設での大きな試練を経験したことにより、いろいろな体制の整備とともに職員の奮起、家族会のご協力のおかげもあって、運営としてはほぼ順調に推移しましたが、懸案事項として「ふれいすBeにおける重症心身障害支援事業の安定化」「短期入所、ケアホーム事業における夜勤職員の安定的な確保」「新規ケアホーム建設の遅れ」などが残り、新たな課題として【利用者の高齢化・障害の重度化への対応】という大きな問題が浮かび上がってきました。

2011年は北摂杉の子会にとって、第2次中

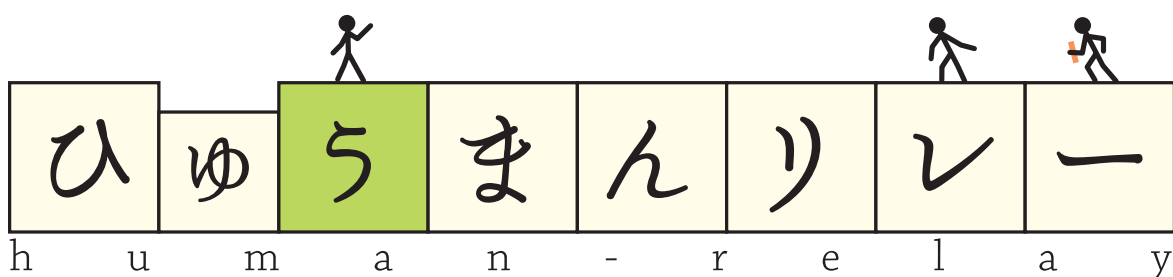
期計画（5ヶ年計画）の仕上げの年であり、第3次中期計画（5ヶ年計画）策定への準備の年でもあります。第2次中期計画に掲げた各事業の主要実施項目の大半は実施されていますが、「新ケアホームの開設」「余暇支援事業の取り組み開始」などの活動が遅れています。又計画外で実施した大きな事業としては「高槻地域生活総合支援センターふれいすBe」の開設があります。ふれいすBeの開設は当法人の総合的な支援力の向上に大きく寄与しておりますが、一方では多額の資金を投入しているために、計画に掲げた「安定した経営持続のための財務体質の強化（5千万円の内部留保の積み上げ）」が大幅な未達になっております。2011年は上記のこれらの課題の解決にしっかり取り組み、中期計画最終年度にふさわしい一年にしたいと思っております。又同時に、次期中期計画における法人の姿、方向性を明確にするための討議を全員参加で進めていきたいと考えております。

第3次中期計画（2012/4～2017/3）のキーワードは【質の磨き上げ】と考えています。第1次は法人としての基礎固め、第2次は適正規模の確保でありましたが、第3次中期計画のポイントは「質の磨き上げ」であり、すべての面での「質の磨き上げ」を考えています。「利用者サービスの質」「職員の質」「利用者の生活環境の質」「働く環境の質」「地域や行政との連携の質」「仲間との連携とネットワークの質」など「質の磨き上げ」を切り口に計画策定の準備に入りたいと考えています。

毎回申し上げていることですが、北摂杉の子会の財産は、素晴らしい理事・評議員、職員、ご家族に恵まれていることです。今年もこの貴重な財産を大切にしながら、社会福祉法人としての社会的責任を自覚し、強い意志と高い志をもって課題に取り組んでいく所存です。

皆様方の一層のご支援、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。





株式会社テミル 代表取締役 (社会福祉士) 船谷 博生さんより



物理的なユニバーサルデザインから 精神的なユニバーサルデザインへ

～知的障害者の働く権利、働く選択肢の保障を目指して～

商品のアクセシビリティ検証などを請け負う事業をしていたある日、部下が私に言いました。「授産施設の商品を集めてカタログギフトにできないですか？」その問いに一旦は「ギフトにならないんじゃない？自分が欲しいと思えないものを贈らないでしょ。」と答えたと同時に、「ではギフトになるもの、自分達が普通に欲しいものを作ればいいじゃないか！」と考えたのが一年前です。これがテミルプロジェクトの始まりでした。

私の障がいをもつ人との出会いは小学3年の時でした。MR (知的障害) の女の子が同級生にいたのです。そしてその子が学校帰りに駅の改札口でお母さんの帰りを毎日待つのをみていた僕は彼女との共通点を見ました。お母さんに対する想いは同じなのだ。このことは私のその後大きく影響しました。大学で福祉を学び、福祉専門職として公務員となり10年勤めたあと、大手企業の福祉事業企画に携わり、どのセクターでも出来なかったテーマ、共生社会の創造へアプローチするための企業を立ち上げました。今、考えると小学生だったあの時に決まっていたことなのかもしれません。

現在の授産施設の多くは下請け軽作業をしていたり、食品製造や木工による製造販売をして

います。そして、労働の対価としての工賃は1万円前後、低ければ数千円の場合もあります。この低賃金は立場を置き換えてみると耐えがたいものであると私は考えています。一生懸命に働いた対価はしっかり欲しいと思いますし、生産性だけで、はかれるのもいかなものかと思うのです。

そのことの原因は偏見、商品品質の低さ、ブランディング/マーケティングの不在、プロダクトアウトであることなど、さまざまなことが考えられますが、改善できないのかと考えると私は改善できると思います。また、今までの授産施設は商品品質を主の価値とせず、「福祉」や「授産」を主の価値としていたように思います。これに関しては逆差別ではないかと私は考えています。しっかりとブランディングやマーケティングを行うとともに、徹底した商品品質の追求を行えば、「福祉」の看板で物を売る必要はないと思うのです。だって、街のパン屋さんはシェフの自己紹介などで売ろうとしていませんし、「どんな人か」など買う人にとってはどうでもいいことなのですから。

そんな想いや考えをもって、トップパティシエによるレシピ提供/製菓指導と人気イラストレーターによるパッケージでスイーツ市場に切

り込んでいくテ米尔プロジェクトを、想いに共鳴
いただいたプロフェッショナルの方々と進めて
います。スイーツ業界のトップコンサル、実力派
パッケージデザイナー、大手百貨店のトップバ
イヤー、弁理士、いろんな方々と同じ想いをもっ
てプロジェクトに取り組んでいます。先日は大
丸札幌店でプロジェクトの第一回の催事出店を
行いました。結果としては同スペース出店者中
で3位の売上だったというくらい大盛況でした。
もちろん売り場に「福祉」はまったくありません
でした。商品品質で結果が出たのです。試食も
1週間で5000人以上の方にいただいたの

です。

この活動を進めて、私たちはまず知的障
碍を持つ方の最低賃金の実現を目指していき
ます。しかし、これは目標の入口です。最終
の目標は障
碍があろうとなかろうと職業を選択でき
るよう、人生を選択できるよう、その選
択肢を創ることにあるのです。学校卒業
時に「パティシエになりたい!」と思っ
たらなれるように。まずはそれが目標
です。ひとつずつ選択肢を創っていき
たいと思います。ビジネスモデルを世に
示せば間口は広がると信じています。

当法人では、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど、ふれいす Be の 3 事業所
において就労継続 B 型事業を行っております。また、その他の事業をご利用の皆さまに
とっても、授産事業の強化がサービスの質の向上に不可欠であると考え、対策の一環
として、今回のひゅうまんりレーの文中にある「テ米尔プロジェクト」に参加するこ
とにいたしました。具体的にはふれいす Be において、ガレット・ブルトンヌという
焼き菓子を製造します。昨年、12 月に製品が完成し、現在パッケージングの最終調
整中です。販売開始のあたりには、法人ウェブサイト等でお知らせいたしますので、ど
うぞご愛顧をお願いいたします。

ふれいす Be 施設長 水藤 昌彦

シリーズ4回目(全4回予定)

地域における包括的支援体制の構築をめざして

～地域連携を考えて～



社会福祉法人大阪市淀川区社会福祉協議会

福祉活動専門員 ^{はま} ^べ ^{たか} ^{ゆき}
浜 辺 隆 之

大阪市淀川区社会福祉協議会は、住民主体の理念に基づき、地域の福祉課題の解決に取り組みながら、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりの実現をめざし、各種の福祉事業をおこなっています。

淀川区では、18の小地域（概ね小学校区）に地域社会福祉協議会と地域ネットワーク委員会が組織され、高齢者食事サービスやふれあい喫茶、子育てサロンなどのサロン活動や、高齢者や障がい者、子育て中の家庭を対象にした友愛訪問や見守りをおこなう個別援助活動が実施されています。このような住民同士の支え合い活動が必要とされるのは、以前はどの地域にも見られた“ご近所の助け合い”が、生活の都市化や核家族化の進行に伴い失われつつあることや、家族の就労形態の多様化により、地域社会から孤立する方が少なくないからです。

そのような方を支えるためには、家族や公的な機関だけでなく、隣人や友人、地域社会全体で支えることが大切であり、本会はそれらの実現をめざし地域福祉をすすめています。

一方で、平成6年より淀川区社会福祉施設連絡会の事務局として、区内の特別養護老人ホームや障がい児・者施設、保育所などの施設間の相互理解と施設福祉サービスの向上、施設と地域社会の連携を目的とした意見交換会や研修会、イベントを開催しています。当連絡会には、貴法人の「ジョブサイトよど」さんにご参加いただき、障がい者を取り巻く状況などをご報告いただいています。また、本会ボランティアビューローに相談のあった精神障がい者の方のボランティア活動の受入れもお願いしています。

“地域”という概念の中には、そこに存在する社会福祉施設も含まれています。もちろん、そこを利用する利用者の方々も“地域住民”です。住民にとって社会福祉施設がより身近なものとなり、また、施設を利用しているの方々にとっても、自分たちのまち（地域）だと感じていただくために、住民と地域組織、さらに社会福祉施設が一体となったコミュニティづくりに取り組んでいきたいと思えます。



障害者支援施設地域生活支援センター 光

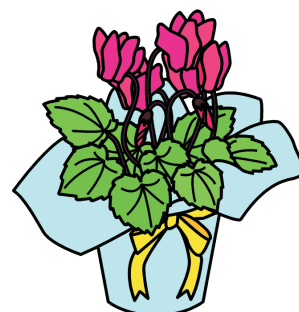
施設長 宮 脇 弘 次

地域生活支援センター光は、高槻市で初めての身体障害者の入所施設（障害者支援施設）として2007年4月に開設されました。定員（施設入所支援）は35名で、入所後も今まで築いてこられた人たちとの関係が途切れないう、入所対象者を高槻市在住者に限定しています。また外部の通所事業所を利用することもでき、現在13名の方が利用されています。

平均障害程度区分は5.8とかなり高く、生活全般において、介助が必要な重度障害の方が多く、障害特性も多岐に渡り、介護方法も複雑なため、高度な介護技術が求められます。そうしたご利用者のニーズに応えられるよう、介護技術等の研修を実施し、職員のスキルアップに取り組み、ご利用者に少しでも喜んでいただけるよう、日々介護サービスの向上に努めております。

さて、貴法人との連携ですが、現在「ジョブサイトひむろ」からご紹介いただいた2名の方に就労していただいています。1日4時間週3回、トイレ掃除を中心にした作業をしていただいています。早いもので1年半が過ぎました。最初の頃はジョブコーチがおられ、常にきめ細かく、分かりやすい指導をされ、感心させられることばかりでしたが、期間が過ぎ、ジョブコーチが来られなくなると、ご本人さんも不安が見え隠れし、職員が悪気なく言った一言で本人さんが気にされることもありました。そのような時はジョブコーチにメールでご相談させていただいておりますが、迅速にかつ、適切にアドバイスをいただけるので、大きなトラブルもなく、対応できています。

これからも、少しでも長く就労していただけるように取り組んで参りますので、今後ともご協力の程宜しくお願いいたします。



専門職としての私

社会福祉士からみる障害者相談支援事業



高槻生活相談支援センター あんだんて

社会福祉士 わた なべ なお み
渡 邊 直 美

私は社会福祉士の資格を持つ「生活相談支援センターあんだんて」の相談支援専門員です。福祉系の大学を卒業後、高齢福祉、地域福祉に携わってきました。中には障害に係る相談や支援もありましたが、障害福祉という分野での相談業務に携わったのは、この法人が初めてです。対象は異なりますが、いずれの分野においても、社会福祉士の本質機能であるソーシャルワーク(注1)の理念を具体的な形にする、という専門職としての共通点があります。

今回は、社会福祉士やソーシャルワーク、その役割の特徴などについて、ご紹介したいと思います。

社会福祉士は、様々な理由によって日常生活の営みに困難や課題を抱える方に対して、専門的な知識や技術をもって相談に応じ、社会資源や関係機関との連携を駆使しながら助言や指導、福祉サービスの提供などを行うものとして、「社会福祉士及び介護福祉士法」に位置付けられた福祉業務に係る資格の一つです。相談支援のニーズは、外国人労働者、ニートや非正規労働者など様々な社会構造上の課題を含む生活課題の

多様化により、広がりをみせています。それに伴い、福祉関係施設や病院、地域、福祉行政などの他、最近では、学校や刑務所などでも活躍が認められるようになりました。

資格を取得するには、まず、法律で定められた受験資格を取得(福祉系の大学や、一般短大・大学を卒業後に養成施設を経由)した上で、「社会福祉士国家試験」に合格する必要があります。社会福祉士は資格のない人は名乗ることができない、名称独占資格です。ですので、医師や看護師のように「資格なしでこの仕事に従事してはいけない」(業務独占といいます)というものではありません。しかし、地域包括支援センターなどの福祉事業において配置基準を満たす資格として義務付けられていることや、第三者による成年後見人の候補者の資格要件とされているなど、専門職の水準の高さを示す資格として認められています。

社会福祉士は、ソーシャルワークの概念を拠り所としています。ソーシャルワークとは何か、という議論は日本だけでなく海外においてもまだまだ結論が出ていないのが

現状です。しかし、私がこれまでの実践において、その基礎として具体的に実現できるように意識し、また大切にしている部分について取り上げます。

相談支援を行う上で、傾聴と共感は大切ですが、それが目的ではありません。クライアント(注2)の人権を守り、自己実現が促進され、クライアントの利益に繋がるように探りながら積極的な支援を行います。特徴的なのは、その働きかけをクライアント個人にのみ行うのではなく、合わせて環境へも働きかけを行う、という部分です。

過去に私が関わった事例を紹介いたします。大阪では中学校での給食は一般的ではありません。お昼には保護者がお弁当を持たせるか、パンなどを各自購入して持参させることになっています。家族関係や精神状態、家計に課題を抱えている生徒にとっては、この昼食を用意すること自体が問題になってきます。学校から児童民生委員を通じて、同様に弁当を持参することができない支援学級の生徒の相談を受けたことがあります。生徒とその家族への福祉サービス利用へとつなぐと同時に、彼らを取り巻く環境や人々や関係機関に対して丁寧に関わりを広げて行きました。

地域の中にはその家族を疎外するような目もありましたが、その生徒に自宅へ立ち寄らせて弁当と一緒に作ってから登校させる人が現れました。そのことを学校に伝えたところ、支援学級の先生が一般住民の行動に励まされ、生徒の自立とセルフケアを促すためにも大切だから、とって4時間目の授業の終わりに冷凍食品やレトルトを使ったごく簡単な昼食づくりをする日を設けるようになりました。更に、一年ほど経っ

た頃から、その生徒も簡単な弁当を持って持参する姿を見ることができました。(近年では、このような課題が注目され、一部でお弁当を注文できる制度の導入がされています)

このように、クライアントが本来持っている能力を発揮することを妨げている事柄、社会から得られる筈の利益を受けにくくしている事柄、つまり利用者が置かれている社会的な状況のなかにある問題を見つけ出し、その社会にも働きかけをし、変容を促そうとする、ここにソーシャルワークの醍醐味があり、それこそが私たちの行う支援の目的です。

法人の目指す使命として「確立されたものだけに取り組むのではなく、時代の先を見据えて一歩先を行き、情報を発信していく」ことが挙げられています。その法人がもつ相談支援事業所の社会福祉士として相応しい働きができるよう、これからも、法人内外の様々な専門職、関係機関と連携し、積極的なアウトリーチ(注3)やソーシャルワークに取り組んでいきたいと思っています。

(注1) ソーシャルワーク

社会福祉サービスを利用者に提供するときに、必要となる社会福祉援助技術の総称をソーシャルワークという。ソーシャルワークには、個人を対象に行う援助技術と集団を対象に行う援助技術がある。また、利用者とその関係者や社会資源等との関係にも注目して問題を解決していく。

(注2) クライアント

社会福祉事業の援助を受ける人

(注3) アウトリーチ

社会福祉事業などにおいて、医療・福祉関係者が直接、利用者等に出向いて心理的なケアとともに必要とされる支援に取り組むこと

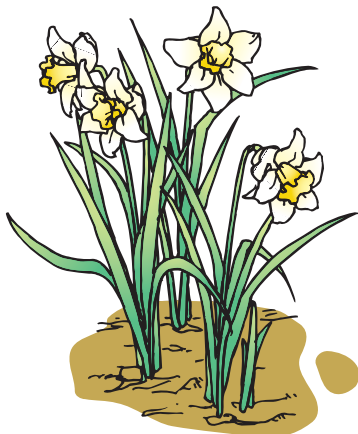
公益信託近藤きよ子記念福祉基金様より 助成金をいただきました。

平成 21 年度、公益信託近藤きよ子記念福祉基金様より 3 事業に対し、助成金をいただきましたことをご報告いたします。

助成内容については次の通りです。

対象事業所	ジョブサイトひむろ	自閉症療育センター Will	ケアホームみやた
助成金額	799,000 円	112,000 円	15,000 円
対象物品	陶芸用備品	パソコン	デジタルカメラ

法人の活動にご理解をいただきました公益信託近藤きよ子記念福祉基金様に御礼申し上げます。



掲 示 板 コ ー ナ ー

(平成 22 年 9 月から平成 22 年 11 月まで)

法人本部総務部掲示板

- | | | | |
|--------|----------------------|------------------|-------------------|
| 9月 6日 | 経営会議 | 13日 | 第3回法人研修 |
| 27日 | 総務会議 | 会場 | 高槻現代劇場 集会室305号 |
| | CoMedixの勤怠管理の件 | 全体研修 | 「ノースカロライナ州での研修報告」 |
| | 小口現金の取り扱いの件 | 分科会1 | 就労支援 |
| 28日 | 運営会議 | 分科会2 | コミュニケーション・スキル |
| | 発達障がい児療育システム整備事業の件 | ～職場におけるスタッフ間の | |
| | 法人内でのよどコロケ内販の件 | コミュニケーションを中心として～ | |
| | 短期入所事業の運営の件 | 分科会3 | 自閉症の支援 |
| | 高齢化・重度化対策検討委員会の進捗と | 分科会4 | 医療 |
| | 今後の進め方の件 | 16日 | 運営会議 |
| 10月 4日 | 経営会議 | | 23年度事業の件 |
| 18日 | 経営会議 | | 利用者工賃の件 |
| 25日 | 総務会議 | 19日 | 平成23年度内定者研修 |
| | CoMedixの勤怠管理について | | 法人内事業所見学 |
| 26日 | 運営会議 | 25日 | 総務会議 |
| | ふれいすBeガレット事業の件 | | 行政監査の件 |
| | 個人情報取扱運用細則の件 | | 年末調整の件 |
| | 新規ケアホームの件 | | CoMedixの勤怠管理の件 |
| 11月 1日 | 経営会議 | 29日、30日 | 職員健康診断 |
| 7日 | 理事評議員会 | | (佐々木寛 記) |
| | 第1号議案 諸規程・規則類の改正の件 | | |
| | 第2号議案 個人情報取扱運用細則新設の件 | | |
| | 第3号議案 平成22年度補正予算の件 | | |

萩の杜掲示板

- | | | | |
|-------|--|--------|---------------------------------|
| 9月 1日 | 安全運転講習会(ふれす) | 27日 | 内部研修会(てんかん発作について)、散髪(Dグループ) |
| 3日 | 美化の日、実習生受入(龍谷大学より2名:~16日) | 28日 | オーラルヘルスケア |
| 6日 | 障害程度区分認定調査(2名)、管理職会議 | 29日 | 日帰り旅行 神戸フルーツフラワーパーク |
| 7日 | 安全運転講習会(ふれす)、給食会議、オーラルヘルスケア | 30日 | 精神科相談、リーダー会議、内部研修会(てんかん発作について) |
| 9日 | 精神科相談、ふれす会議 | 10月 1日 | 美化の日、施設見学受入(社会福祉法人つつじより2名) |
| 13日 | 萩の杜会議、散髪(Bグループ) | 4日 | 施設見学受入(社会福祉法人青山会より4名)、散髪(Cグループ) |
| 14日 | オーラルヘルスケア | 5日 | 萩の杜会議、給食会議、オーラルヘルスケア |
| 15日 | 日帰り旅行 太秦映画村 | 8日 | 実習生受入(社会福祉法人ノーマライゼーション協会より1名) |
| 16日 | 萩の杜運営会議、実習生受入(日本メディカル福祉専門学校より1名:~10月16日) | 12日 | 管理職会議、オーラルヘルスケア |
| 21日 | 管理職会議、オーラルヘルスケア | | |
| 26日 | 家族会定例会 | | |

- | | |
|--|---|
| 14日 萩の杜運営会議、精神科相談 | 8日 施設見学受入（社会福祉法人青山会より3名）
散髪（Bグループ） |
| 15日 施設見学受入（社会福祉法人つわぶき会より4名） | 9日 施設見学受入（飛鳥井ワークセンターより20名）、オーラルヘルスケア、管理職会議 |
| 18日 安全対策委員会、実習生受入（社会福祉法人ノーマライゼーション協会より1名） | 11日 ぶれす会議、精神科相談、日帰り旅行 姫路セントラルパーク |
| 19日 リーダー会議、オーラルヘルスケア | 13日 法人研修 |
| 20日 避難訓練（生活グループ） | 16日 オーラルヘルスケア |
| 21日 ぶれす会議 | 19日 避難訓練（ふれっと） |
| 22日 実習生受入（関西学院大学より1名：～23日） | 22日 内部研修会（染色体異常、発達障害について）、管理職会議 |
| 25日 ケース報告会、散髪（Aグループ）、実習生受入（社会福祉法人ノーマライゼーション協会より1名） | 24日 日帰り旅行 京都市動物園 |
| 26日 オーラルヘルスケア | 25日 精神科相談、施設見学受入（社会福祉法人皆楽園より6名）、利用者健康診断、内部研修会（染色体異常、発達障害について） |
| 27日 日帰り旅行 神戸市立フルーツフラワーパーク | 28日 家族会定例会 |
| 28日 精神科相談、管理職会議 | 29日 リーダー会議、散髪（Dグループ）、職員健康診断 |
| 11月 1日 実習生受入（大阪保育福祉専門学校より2名：～13日） | 30日 オーラルヘルスケア、職員健康診断 |
| 2日 萩の社会議、給食会議、オーラルヘルスケア | |
| 4日 萩の杜運営会議 | |
| 5日 美化の日 | |
- （下 記）

ジョブサイトひむろ掲示板

- | | |
|--|---|
| 9月 2日 洗濯②グループレクリエーション
公用車にて、イオン大日ショッピングセンターに行きました。 | を楽しみました。 |
| 6日 エアロピクス | 24日 ジョブサイトひむろ会議 |
| 7日 そうぞう4グループレクリエーション
マイクロバスを利用し、花博記念公園鶴見緑地に行きました | 28日 エアロピクス
ジョブサイトひむろ職員勉強会
「記録の取り方」について武内支援員を講師に勉強しました。 |
| 9日 洗濯①グループレクリエーション
公共交通機関でマイカル茨木に行きました。 | ※9月見学者・来訪者 10組18名
9月福祉実習生（関西福祉科学大、日本福祉大、龍谷大）4名延べ16日間 |
| 11日 前期利用者健診
ジョブサイトひむろにて、香川クリニック様にお世話になりました。
就労メンバーレクリエーション
公共交通機関にてカラオケに行きました。 | 10月 1日 ジョブサイトひむろ日帰り旅行
① グループ…淡路島（ワールドパーク ONOKORO他）
② グループ…淡路島（イングランドの丘他）
③ グループ…鈴鹿サーキット
④ グループ…天の橋立
観光バスにて以上の4グループに分かれて実施しました。好天に恵まれ、とても楽しい旅行となりました。 |
| 14日 エアロピクス | 5日 平成22年度第1回避難訓練 |
| 16日 療育グループレクリエーション
公用車にて、石清水八幡宮に行きました。
たかつき・しまもと就労支援ネットワーク会議に参加しました。
「企業開拓」をテーマにジョブサイトひむろが講師を務めました。 | 7日 そうぞう4①グループレクリエーション
公用車にてインスタントラーメン博物館に行きました。 |
| 21日 そうぞう2①グループレクリエーション
公用車にて、道の駅「能勢の郷」に行きました。 | 11日 祝日開所
就労レクリエーション
公共交通機関にて、浦堂までイモ掘りに行き |
| 23日 就労グループレクリエーション
今城塚公民館にて、調理（サンドイッチ作り） | |

ました。

12日 エアロビクス

13日 社団法人大阪府アミューズメント施設営業者連絡会様のご招待で、ラウンドワンでゲームを楽しみました。

18日 エアロビクス

21日 そうぞう1③グループレクリエーション
嵯峨野観光鉄道に乗って楽しみました。
グリーン特別養護老人ホームさん就労グループ
レストラン・サンマルク奈佐原店にて夕食を楽しみました。

22日 ジョブサイトひむろ会議

26日 エアロビクス
ジョブサイトひむろ職員勉強会
そうぞう3グループの「事例紹介」を湯岡支援員が発表しました。

27日 折りコン②グループレクリエーション
近畿ココロラク御山工場に見学に行きました。

28日 そうぞう3①グループレクリエーション
寝屋川公園に行きました。
たかつき・しまもと就労支援ネットワーク会議に参加しました。
「職場のフォローアップ」をテーマにジョブサイトひむろの松田支援員が講師を務めました。

30日 カフェ開所（ぶれいすBe：カフェBe）
※10月見学者・来訪者 43組54名
10月福祉実習生（関西学院大学）1名延べ2日間
10月体験実習（吹田特別支援学校、高槻特別支援学校）3名延べ10日間

11月 3日 祝日開所日
就労メンバーレクリエーション

公共交通機関にてカラオケに行きました。
折りコンレクリエーション
公用車にて緑が丘公園に行きました。

5日 そうぞう4③グループレクリエーション
レストラン・サンマルク奈佐原店に行きました。

9日 エアロビクス
ジョブサイトひむろ職員勉強会
「知的障がい者と触法」をテーマにぶれいすBe水藤施設長を講師に お話を伺いました。

11日 そうぞう2②グループレクリエーション
公用車にて、茨木市民体育館に行きました。

13日 法人研修会（現代劇場）

18日 そうぞう1②グループレクリエーション
公用車にて、嵐山・高雄パークウェイに行きました。
陶芸グループレクリエーション

19日 ジョブサイトひむろ会議

22日 エアロビクス

23日 祝日開所日
就労メンバーレクリエーション
今城塚公民館で調理実習（ハンバーグ作り）を楽しみました。

25日 そうぞう3②グループレクリエーション
公共交通機関で王子動物園に行きました。

30日 エアロビクス
※11月見学者・来訪者 22組30名
11月体験実習（吹田特別支援学校）
2名延べ10日間
11月福祉実習生（阿武野中学、阿武山中学）
4名延べ6日間

（平野 記）

発達障害支援部掲示板

○大阪自閉症支援センター

保護者研修 実践講座 3回、フォローアップ講座 2回
実施、自立課題講座 2回実施

和泉市教育委員会

巡回相談（幼稚園3回、小学校2回）、テーマ別研修3回

高槻市教育委員会

巡回相談（小学校3回、中学校1回）

摂津市教育委員会

巡回相談（幼稚園2回）

泉大津市教育委員会

巡回相談（小学校3回）、テーマ別研修1回

豊能町教育委員会

巡回相談（小学校1回）

大阪狭山市教育委員会

巡回相談（小学校1回）

四条畷市教育委員会

巡回相談（小学校2回）

講師派遣

仁川学院、大阪LD親の会、守口保健所、大阪社会福祉研修センター、大阪保護観察所、大阪労働局、社会福祉法人侑愛会、大阪自閉症支援センターを発展させる会オアシス、島本町支援教育研究協議会、大阪府障がい者自立相談支援センター、精神障害者社会復帰促進協会、NPO法人SEAN、追手門学院大学、摂津市こども育成課、大阪府総合福祉協会

○アクトおおさか

- 9月 8日 所内ケース会議(スーパーバイザー山本仰先生)
11日 JDD ネット大阪運営委員会出席
13日 成人期家族グループ第4回実施
21日 大阪府第4次障がい者計画第3回検討委員会出席
24日 大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会子ども部会出席

- 10月23日 大阪府発達障害団体ネットワーク第2回ネットワーク会
実践報告 学校と家庭との協力関係について
26日 大阪府第4次障がい者計画第4回検討委員会出席
11月19日 大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会成人部会出席
23日 成人期家族グループ学習会(講師 山下仰先生)
(新澤 記)

発達障害児療育支援部掲示板

○児童デイサービスセンター an

- 9月 3日 保護者研修入門
10日 保護者研修実践A
17日 保護者研修実践B
21日 療育支援部トレーニングセミナー(～22日)
10月 1日 保護者研修入門
8日 保護者研修入門A
15日 保護者研修実践B
11月 5日 保護者研修入門
8日 個別支援計画ミーティング(～19日)
12日 保護者研修実践A
19日 保護者研修実践B
26日 保護者研修入門

○自閉症療育センター will

- 9月 8日 保護者研修A
15日 保護者研修B
21日 療育支援部トレーニングセミナー(～22日)
24日 大阪府療育事業ネットワーク会

29日 保護者実践交流会

- 10月 6日 保護者研修A
13日 保護者研修B
11月17日 保護者研修A
24日 保護者研修B
26日 個別支援計画ミーティング(～12/5)

○自閉症療育センター Link

- 9月 9日 保護者研修B
16日 保護者研修A
21日 療育支援部トレーニングセミナー(～22日)
24日 大阪府療育事業ネットワーク会
10月 7日 保護者研修A
14日 保護者研修B
11月18日 保護者研修A
25日 保護者研修B
26日 個別支援計画ミーティング(～12/5)

(谷岡 記)

ジョブサイトよど掲示板

- 9月 1日 避難訓練
8日 大阪市障害児・者施設連絡協議会 防災研修
9日 淀川区自立支援協議会 研修会
10日 よど運営会議/生活介護会議
13日 防火安全指導(淀川消防署)/支援員会議
16日 よどのコロケ会議
17日 保護者説明会/十三地区管理職会議
21日 大阪市障害者施設合同説明会
22日 よど運営会議/淀川区自立支援協議会研修委員会
28日 支援員会議
29日 施設見学会(7名:京都教育大学 他)/給食会議

- 知的障害者福祉協会全国職員研究大会(花野)
30日 施設見学(2名:大阪市北部地域就業支援センター)
淀川区社会福祉施設連絡会
10月 1日 社会福祉士現場実習(～20日・京都府立大学1名)/コロケ会議
5日 施設見学(3名:萩の杜スタッフ)
7日 よど運営会議
8日 日帰り旅行(Aグループ)/十三地区管理職会議
12日 支援員会議
15日 日帰り旅行(B・Cグループ)
22日 よど運営会議

- | | | | |
|--------|------------------------------|-----|---------------------------------------|
| 25日 | 施設見学会（18名：高槻支援学校他）／
支援員会議 | 17日 | 施設見学（6名：㈱RETOWN他） |
| 27日 | 給食会議 | 22日 | 支援員会議 |
| 28日 | よどのコロケ会議 | 24日 | 施設見学（20名：ライフサポート協会） |
| 29日 | 施設見学（11名：はびねす福祉会） | 26日 | 施設見学（2名：エルチャレンジ）／よど運
営会議／十三地区管理職会議 |
| 11月 8日 | 支援員会議 | 29日 | 施設見学会（15名：兵庫県自閉症協会尼崎支
部 他） |
| 9日 | 消防設備点検 | 30日 | 豊中支援学校・学校協議会（佐々木）／給食
会議 |
| 11日 | 全国自閉症者施設協議会長野大会（松上、
佐々木） | | |
| 12日 | 公用車定期点検 | | |
| 15日 | よど祭り実行委員会 | | |

(佐々木 祐 記)

ぷれいす Be 掲示板

- | | | | |
|--------|-------------------------------|--------|---------------------------------------|
| 9月 1日 | 工賃規定検討会議 | 25日 | 製菓パイロット事業 プロジェクト全体ミー
ティング |
| 7日 | 入職3年目までの職員のピア・サポート・ミー
ティング | 11月 2日 | 入職3年目までの職員のピア・サポート・ミー
ティング |
| 8日 | マネージメント・ミーティング | | 高槻市立阿武山中学校1年生の総合学習によ
る体験実習（3名。1日間） |
| 9日 | Be家族会役員会 | 3日 | マネージメント・ミーティング |
| 10日 | マネージメント・ミーティング | 4日 | 来年度利用希望者の支援学校における状態観察 |
| 13日 | 職員研修 消防署による応急手当講習会 | 11日 | Be家族会役員会 |
| 16日 | 製菓パイロット事業 パティシエによる製菓
指導 | 13日 | 法人研修会 |
| 17日 | 敷地内三施設代表者会議 | 17日 | マネージメント・ミーティング |
| 22日 | マネージメント・ミーティング | 18日 | 大阪市立視覚支援学校高等部1年生実習
(1名。2日間) |
| 10月 5日 | 入職3年目までの職員のピア・サポート・ミー
ティング | 19日 | 来年度利用希望者との面談開始（～12月2日） |
| 6日 | マネージメント・ミーティング | 24日 | 高槻市立郡家小学校4年生による見学 |
| 9日 | Be家族会定例会 | 28日 | 高槻市立第一中学校2年生による職業体験実習
(1名。2日間) |
| 12日 | 消防訓練 | | (水藤 記) |
| 14日 | Be家族会役員会 | | |
| 18日 | 専門業者による館内床面の清掃 | | |



萩の杜家族会掲示板

- | | | | |
|---------|--|---------|---|
| 9月 11日 | イオン黄色レシートキャンペーン活動 | 28日 | サークル萩 |
| 16日 | 萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど、ふれいすBe家族会会長懇談会 | 11月 11日 | イオン黄色レシートキャンペーン活動 |
| 22日 | 広報部会 機関紙発送協力
萩の杜家族会7名、ジョブサイトひむろ家族会3名。 | 17日 | 萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど、ふれいすBe家族会会長懇談会 |
| 26日 | 定例会、フリートーク：18名出席
施設より虐待防止について、
よどのコロックについて
送迎バスについて
安全対策
委員会の報告
資金部より10月実施のバザーについて等。
カトリック教会での花販売活動 | 24日 | 広報部会 機関紙発送協力
萩の杜家族会6名
尚、今回は法人本部の連絡ミスにより、ジョブサイトひむろ家族会への協力依頼が伝わらなかったが、今後このようなことのないよう申し入れた。 |
| 30日 | サークル萩
10月のバザー実施について
ふれあいバザー（16日） 収益36,100円
奥坂バザー（17日） 収益50,190円
ふくろうの森バザー（29日～30日）
収益77,600円
カトリック高槻教会（31日）収益63,350円 | | |
| 10月 11日 | イオン黄色レシートキャンペーン活動 | | |
| 18日 | 安全対策委員会
ヒヤリ・ハット報告、事故報告
萩の杜利用者の定員について
インフルエンザ予防接種について | 25日 | サークル萩 |
| | | 28日 | 定例会、フリートーク：17名出席
施設より工賃改訂について
施設・利用者間の契約について
施設に対して400万円の寄付実施の報告
送迎バスアンケート結果の報告
四家族会会長懇談会の報告等
カトリック教会での花販売活動。
(植松 記) |

この度の連絡ミスは誠に申し訳ありません。今後、確実にジョブサイトひむろ家族会に伝わるように改善いたします。
総務部 佐々木

ジョブサイトひむろ家族会掲示板

- | | | | |
|-------|--|--|--|
| 9月 2日 | 役員会議 題
1. 定例会日程9月17日に決定
2. 家族会会費未払いの件
未払いの方（1名）について対策協議
一応の方向性確認
3. ケアホーム入居希望者の会について
世話人3名を選任
東様、切石様、新田様
今後希望者の意見を取りまとめて法人と協議することとする
4. 後見人制度研究会について
早急に世話人を選任しNPO法人設立に向けて研究会を開く
ジョブサイトひむろ家族会に留まらず、他の法人家族会にも働きかける
NPO法人を設立する条件 | ①使命・目的を明確にする
②メンバーは慎重に選ぶ
③実態を調査する
④外部の専門家を含めた助力を得る
⑤活動は楽しく行う
⑥小さくても成果を積み上げる | |
| | | 9月 10日 | ケアホーム世話人の会
世話人3名の顔合わせと会長との意見交換
家族会から切り離して活動を行うが情報は共有すること再確認 |
| | | 9月 16日 | 家族会会長懇談会
出席者 萩の杜植松会長
ジョブサイトひむろ豊澤会長
ジョブサイトよど福田会長
ふれいすBe本城会長
テーマ 家族会の資金作りについて |
| | | 9月 17日 | 定例会 出席36名 欠席15名 |

議 題

1. 法人からの報告
2. バザーについて 10月16日(土)
3. ケアホーム委員会立ち上げ 東、新田、切石
4. 後見人制度の研究会 永田、西原、加藤
5. ジョブサイトひむろからの報告
後見人制度についての資料提供
工賃の変更について
日帰り旅行は10月1日(金)実施
レクリエーションは2回実施済み、
3回目を企画中
カフェ開所は3回実施、
利用者72名 家族88名 合計160名参加

会長報告

家族会会長懇談会報告
家族会の協力 ジャスコ、コロッケ、講演会への協力依頼
ケアホーム、後見人問題は家族会テーマから一歩距離を置いて対処
バザーは昨年の取り決めどおり、昨年参加者は除外して対処

ジョブサイトひむろ報告

- 10月 1日 ケアホーム入居希望者の会打ち合わせ
10月16日 高槻市ふれあいバザー参加(今年は1日だけの実施)
売り上げ 82,695円
売り上げ順位
1位 タオル、シーツ、洗剤、石鹸などの日用品
2位 海苔、コーヒー、お茶漬け、そうめん、そばなどの日持ちする食品
3位 新品に近い衣類、かばん、靴、傘など
※ジョブサイトよどのコロッケは大好評
11月15日 ケアホーム入居希望者の会打ち合わせ
11月17日 家族会会長懇談会
出席者 萩の杜植松会長
ジョブサイトよど福田会長
ぶれいすBe本城会長
※ジョブサイトひむろ豊澤会長は体調不良につき欠席
テーマ 定例会のあり方について
(豊澤 記)

ジョブサイトよど家族会掲示板

- 9月 6日 家族会役員会開催。100円喫茶実施。
9日 オアシス役員会で100円喫茶実施。
13日 十三市参加。
オアシスサロンで100円喫茶実施。
16日 法人内家族会会長懇談会に参加。
27日 勉強会。オアシスと共催。
講師 当法人常務理事兼ジョブサイトよど施設長松上利男氏をお招きして「法人の方針について、ケアホームについて」講義して頂いた。
10月 4日 家族会役員会開催。100円喫茶実施。第1回よどまつり運営委員会開催。
13日 十三市参加。
10月定例会開催。
会員20名。松上施設長。佐々木副施設長出席。
18日 オアシスサロンで100円喫茶実施。
19日 大阪府庁、大阪教育委員会大阪市教員委員会訪問。(オアシス前会長、会長)
23日 大阪府発達障がい団体ネットワーク講演会参加。
(会長、運営役員2名)
24日 堺ファインプラザバザーにてオアシスと一緒に参加。
26日 オアシス役員会で100円喫茶実施。
11月 1日 家族会役員会開催。100円喫茶実施。
5日 スペシャルオリンピックス全国大会大阪開会式応援参加。(運営役員1名)
9日 オアシス座談会で100円喫茶実施。
15日 勉強会。オアシスと共催。
講師 大阪市発達障害支援センター課長井上芳子氏をお招きして「就労について」講義して頂いた。
第2回よどまつり運営委員会開催。
17日 法人内家族会会長懇談会に参加。
18日 オアシス役員会で100円喫茶実施。
22日 オアシスサロンで100円喫茶実施。
26日 オアシス公開講座に参加。8名参加。
(福田 記)

ふれいすBe 家族会掲示板

- | | | | |
|--------|---|---------|---|
| 9月 9日 | 第1期第6回役員会
10月9日の家族会定例会について
その他 | 23日、30日 | Cafe Be ありがとう祭り 家族会有志参加 |
| 16日 | 家族会会長懇談会出席（本城）
各家族会の活動について | 11月 7日 | 北摂杉の子会評議員会出席（本城） |
| 30日 | 臨時役員会
10月9日の家族会定例会準備作業、確認 | 11日 | 第一期第8回役員会
寄附金手続き説明会とその内容について
行事計画とアンケートについて
役員改選の手続きについて
ふれいすBe より
その他 |
| 10月 9日 | 家族会定例会
場所：カフェ Be 参加者：20家族22名
法人全体の動き（松上常務理事）
ふれいすBe 上半期の結果と下半期の計画
（水藤施設長）
家族会上半期の報告（本城）
家族会下半期の活動について意見交換 | 17日 | 家族会会長懇談会出席（本城）
各家族会の定例会について |
| 14日 | 第1期第7回役員会
家族会上半期の収支状況、確認
10月9日の定例会の結果について
法人への寄附手続きについて
その他 | 22日 | 臨時役員会
26日の寄附説明会の準備作業、確認 |
| | | 25日 | 法人への本年度の寄附手続きについての説明会
場所：カフェ Be 参加者：18家族19名
（本城 記） |

大阪自閉症支援センターを発展させる会オアシス掲示板

- | | | | |
|--------|---|--------|--|
| 9月 9日 | 9月度役員会 | 11月 9日 | 谷岡とし子先生を囲んで座談会
長居障害者スポーツセンター会議室にて
（23名参加） |
| 13日 | オアシス・サロン | 15日 | 勉強会（共催：ジョブサイトよど家族会
23名参加）
講師：井上芳子先生（大阪市発達障害者
支援センターエルムおおさか 副所長） |
| 27日 | 勉強会（共催：ジョブサイトよど家族会
17名参加）
講師：松上利男先生 | 18日 | 11月度役員会 |
| 10月11日 | 臨時役員会 | 22日 | オアシス・サロン |
| 18日 | オアシス・サロン | 26日 | オアシス公開講座
ドーンセンター特別会議室にて（90名参加）
講師：新澤伸子先生 |
| 23日 | 大阪府発達障がい団体ネットワーク会（役
員・会員参加） | 28日 | 調理実習
（前野 記） |
| 24日 | ファインエリアフェスティバル参加（役員・
委員） | | |
| 26日 | 10月度役員会 | | |

北摂杉の子会後援会掲示板

<近況報告>

本会の活動に対し、萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど、ふれいすBeの家族会を含む多くの方々のご支援をいただき、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(会員数)

▪ 2010年09月
個人会員：526名
団体会員：12団体 合計：538名／団体
寄 付：1件

- 2010年10月
個人会員：526名
団体会員：12団体 合計：538名／団体
寄 付：3件
- 2010年11月
個人会員：529名
団体会員：12団体 合計：541名／団体
寄 付：6件

<連絡事項>

- 後援会への寄付（108,000円、2010/11/02）

(棚山 記)

物品のご提供訂正文

<おわびと訂正>

前号 24 ページ「物品のご提供に感謝いたします。」にて『ふくろうの森クラブ野村』を誤って『ふくろうの杜野村』としておりました。(敬称略) ここにお詫びして訂正申し上げます。

□法人へのご寄付に感謝いたします。(2010年8月31日～2010年11月30日)

棚山薫晴 小川敏夫 法橋かね子 近藤勝 大久保尚武 河端良一 成田憲彦 上野嶺子 竹内東洋秀 NPO 法人スイーツスマイル 大阪自閉症支援センターを発展させる会オアシス 中村節史 佐藤康子

□後援会入会と会費納入に感謝いたします。(2010年8月12日～2010年11月25日)

谷口智恵子 並河 博 並河光子 永井昌明 西井正美 西井真弓 西井多美 西井弘美 八田 進 長岡 功 木下豊仁 砂子敦之 砂子清子 北野禎三 篠田正道 照内百子 山田博道 山田綾子 玉木一彦 城 保男 匿名 福田浩三 福田啓子 福田浩隆 中島江美子 菅沼朋子 山本壽一 沼波喜代子 中井喜代子 米谷好衛 山根裕史 山根生江 高原正義 高原加代子 高原由江 大谷千由子 井上惇子 今井恵美子 伊福久子 井上陽子 塩田好子 塩田裕正 矢橋寿樹 矢橋 茜 矢橋耕助 矢橋ひとみ 矢橋音弥 片岡厚子 坂本啓子 鈴木規子 有川洋太郎 有川由子 有川光洋 有川輝久 有川智美 有川航平 岩 愛子 岩 敬子 岩 忠 岩 弘子 大野忠春 富坂健治 富坂昭子 大野捷昭 大野幸子 大野昭彦 大野博夫 大野博美 大野晴夫 小川敏夫 小川祥子 加茂明男 藤木 恵 木村 正 亀田三恵子 中嶋文字 本田英世 本田賀子 本田俊之 本田 聡 本田宏美 本田利秋 田口和人 田口敦夫 田口容子 田寺雅幸 田寺文子

□後援会へのご寄付に感謝いたします。(2010年7月23日～2010年11月16日)

笠原隆之助 宮本東雨 川合定雄 加茂明男 小倉襄二 浅利一郎 藤木 恵 棚山薫晴 諸富信子 大阪ふさ子

□家族会へのご寄付に感謝いたします。(2010年10月26日～2010年11月30日)

稲泉 植松 本田 ふくろうの森クラブ 田口容子 田口恵美子

□物品のご提供に感謝いたします。(2010年10月26日～2010年11月30日)

白木 野村 (ふくろうの森クラブ) 荒木 横田 南野 古賀 松本美和子 岡田公美子 木村輝子 すみれ会 棚山薫晴

□ボランティアに感謝いたします。(2010年10月26日～2010年11月30日)

松岡洋一 水野造園 松上英子 松久網穂 前田龍秀 草刈茂代 中田直也 垣野内貴文 ボランティアグループ槻輪 不二園芸 坂井恵美子 佐々木 ほかほか弁当園田店 高木浩平 西本愛 坂井真由美 野崎幸一 後藤純子 木原かおり

(敬称略 順不同)

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。お振込みは右記口座までお願いいたします。皆様のご支援とご協力を よろしくお願い致します。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会 理事 中村節史 口座番号：5085555

□ 社会福祉法人北摂杉の子会法人本部事務所
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-6 奥野ビル 402
TEL (072) 662-8133 FAX (072) 662-8155
[E-Mail] info@suginokokai.com
[URL] http://www.suginokokai.com

□ 知的障害者生活施設萩の杜
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072) 699-0099 FAX (072) 699-0130
[E-Mail] haginomori@suginokokai.com

□ 萩の杜ショートステイセンターふれす
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072) 699-0844 FAX (072) 699-0130
[E-Mail] breath@suginokokai.com

□ ケアホームとんだ
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14101号室

□ ケアホームみやた
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1105号室

□ ジョブサイトひむろ
(就労移行支援・生活介護・就労継続支援B型事業)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL & FAX (072) 697-2234
[E-Mail] himuro@suginokokai.com

□ 高槻地域生活総合支援センターふれいす Be
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072) 681-4700 FAX (072) 681-4900
[E-Mail] placebe@suginokokai.com

■ 生活支援センターあんだんて
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072) 681-4755 FAX (072) 681-4900
[E-Mail] andante@suginokokai.com

□ 高槻障害者地域移行支援センターだ・かーぼ
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072) 681-4755 FAX (072) 681-4900
[E-Mail] da-capo@suginokokai.com

■ 大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか
〒532-0023 大阪市淀川区十三東3丁目18-12 イトウビル 1F
TEL (06) 6100-3003 FAX (06) 6100-3004
[E-Mail] act-osaka@suginokokai.com

□ 自閉症療育センターwill
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072) 662-0100 FAX (072) 662-0056
[E-Mail] will@suginokokai.com

□ 自閉症療育センターLink
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3階
TEL (072) 841-2411 FAX (072) 841-2412
[E-Mail] link@suginokokai.com

□ ジョブサイトよど
(就労移行支援・生活介護・就労継続支援B型事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06) 6838-7007 FAX (06) 6838-7015
[E-Mail] yodo@suginokokai.com

□ 大阪自閉症支援センター
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06) 6838-8990 FAX (06) 6838-7015
[E-Mail] o-center@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp

□ 児童デイサービスセンターan
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06) 6838-8990 FAX (06) 6838-7015
[E-Mail] an@suginokokai.com [URL] http://oasc.jp

※■は行政よりの委託事業

発行人 社会福祉法人北摂杉の子会 理事長 中村節史 発行所 北摂杉の子会 住所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1
発行日 2010年1月10日 定価 100円